

子どもたちの教育環境を整える

補正予算

各事業における補正予算案を可決

条例制定一件、条例の一部改正一件、町道路線認定一件、同意案件10件、一般会計補正予算などを審議しました。（審議の結果は5ページに掲載）
また、7人の議員が一般質問を行い、町当局の考えをいただきました。（6～10ページに掲載）

※本文中の金額は、一万円未満を切り捨てています。

学校などに

CO2モニターを設置
町内の保育施設、幼稚園、小・中学校にCO2（二酸化炭素）モニターを設置し、子どもたちの健康を守ります。財源として、小・中学校における購入費用について、国の学校保健特別対策事業費補助金を活用します。

質疑

問 配置場所と導入効果は。
答 ほぼ全ての教室に約10センチ角のモニターを設置する。二酸化炭素の濃度が基準値（1500ppm）を超えるとアラ

ームが鳴り、換気のタイミングを分かりやすくできるような考えがある。
問 サーバーと連動して継続的に記録を取り、教室などの換気対策に反映できるのか。
答 現在購入を予定している機種は連動していない。機種の購入費用が高くなるため、費用対効果も考えて検討する。

質疑

問 既に各教室に空気清浄機を置いているが、CO2モニターの必要性は。
答 空気清浄機などで空気の循環はしているが、二酸化炭素は学校環境衛生基準に基づく換気にな

国からの補助金の対象としてCO2モニターの提示があり、全教室に配置することとした。
**「子育て支援策
検討会議」を発足へ**
有識者、幼稚園や保育施設の代表者などで、待機児童対策を検討するために「子育て支援策検討会議」を立ち上げ、報償費について予算の増額補正を行いました。

会議では待機児童の問題について、どのように改善していくかなど、中長期的に検討し方向性を決めます。



▲ご寄附で平成26年に設置した宮部文庫（町立図書館）

寄附金で図書館を充実
加古川中央図書館
イタリクラブ様よりいただいた70万円の寄附金を活用し、新たに本と書棚を購入し図書館1階に配備します。

ご厚志を町の安全に
亡くなられた消防団員のご遺族から、消防団活動への支援としてご寄附をいただきました。ご厚志を役立て、老朽化した消防活動車を購入します。

質疑

問 消防活動車の配備や整備の内容は。
答 赤色灯を搭載した消防活動車（軽自動車）の購入を予定しており、庁舎に配備する。消防活動車は稼働の機会が多く、防災活動などにも活用でき、ご厚志を町の安全に活用できる。

企業立地奨励金を交付へ
企業立地促進条例により、町内に事業所を新設した事業者に対し奨励金を交付するため、予算を計上しました。
景観作物の申請件数増に対応
休耕田に花を植えた場合などに、景観作物助成金を交付していますが、申請件数が当初の見込みを上回ったため、予算を増額補正しました。

調整区域の土地利用を検討
播磨臨海地域道路の整備が今後進展することに伴い、市街化調整区域の

土地利用の方向性について検討を開始しました。土地利用のニーズを把握する需要調査を実施するため、委託料を増額補正しました。

公園長寿命化計画に

算定誤り
公園長寿命化計画策定委託料について、諸経費の取り扱いに算定誤りがあり、当初予算に不足が生じるため1200万円を増額補正しました。今後は、予算編成時のチェック体制をより強化し、正確に業務を遂行していきます。

認定 町道に認定

宅地開発事業者から古宮地区にある私道を含めた道路整備の協議があり、編入基準を満たすことから寄附手続を進め、町道路線として11・6メートルを認定しました。

子ども相談を拡充
現在、妊娠や子育てに関する電話・窓口相談を正規職員が対応し、訪問面談を専門職に委託していますが、ハイリスク家庭からの相談件数が増えていることから、一般的な電話・窓口相談も専門職に委託し、正規職員がより細やかな対応を取れる

ような体制を整えます。また、子育て支援センターでの赤ちゃん相談の際に、小児科の経験が長い医師による対応を開始します。
財源として、出産・子育て応援交付金を活用します。



▲子どもの笑顔を応援（野添コミセン区運動会）

条例 給食費調整のための基金を設立

令和5年4月から、学校給食費が公会計化され、学校給食会は令和5年9月末日に解散されます。それに伴い、同会が管理する資産について寄附の申し出があり、適切に管理運用し給食用の物資を確保するために、基金条例を制定しました。

条例 CO2削減などの森林環境税を導入

国で森林環境税が導入されることに伴い、令和6年度から、町民税均等割と併せて、森林環境税として一人当たり1000円を徴収します。

質疑

問 基金の積み立ては、基金の目的に沿う寄附金の額ということ、かなり幅広い寄附金を受け入れる規定になっているが理由は。
答 学校給食会の資産を寄附金として受け入れ、公会計での食材料費の調達などにおける調整弁とする。寄附があった場合は、寄附者の意図に沿えるように、目的を確認して運用する。

質疑

問 趣旨やゼロカーボンも含めてアピールし、使途を分かりやすく公表する必要があるのでは。
答 現在はホームページ上の公開にとどまっているが、そのようなことも含め、広報紙などでも公表を行っていききたい。

人事 農業委員会 委員の任命

現委員の任期が令和5年7月19日で終了することから、各地区より推薦を受けた8名と、一般公募2名の合計10名の委員が提案され、同意しました。